

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：サステナブル・ファイナンス ILAS Seminar :Sustainable Finance			担当者所属 職名・氏名	総合生存学館 准教授 金村 宗		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	10(10)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	水5	教室	東一条館実習室(121・122)			使用言語	日本語
キーワード	サステナビリティ / ファイナンス / 環境・社会・ガバナンス						
[授業の概要・目的]							
本講義では、近年注目を浴びているサステナブル・ファイナンス(持続可能な金融)を研究の対象とします。サステナブル・ファイナンスとは、顧客と社会の長期永続的な成長のため、環境・社会・ガバナンス(Environment・Social・Governance: ESG)の基準を事業または投資の決定に組み込むあらゆる形の金融サービスを指します。本講義では、ファイナンスに関する基礎的な知識を習得したうえで、グリーンボンド・排出権取引・ESG投資・グリーンフィンテックといったサステナブル・ファイナンスに関する最近の動向をいくつか簡単に紹介します。そしてグループごとに研究対象を決定したうえでそれらの問題点を設定し、その解決方法等についてグループごとにディスカッションを重ねることで、より具体的なリサーチを行います。							
[到達目標]							
サステナブル・ファイナンスの基礎を学ぶことで新たな視座を得るとともに、高校までの学習とは異なるリサーチについての初歩的な経験を得ることを目指します。							
[授業計画と内容]							
【第1回】	ファイナンスの基礎(1)：キャッシュフロー分析						
【第2回】	ファイナンスの基礎(2)：アセットプライシング						
【第3回】	ファイナンスの基礎(3)：リスクマネジメント						
【第4回】	サステナブル・ファイナンスの動向(1)：グリーンボンド、再生可能エネルギープロジェクト評価						
【第5回】	サステナブル・ファイナンスの動向(2)：排出権取引						
【第6回】	サステナブル・ファイナンスの動向(3)：ESG投資、グリーンフィンテック						
【第7回】	研究対象の選択と決定：サステナブル・ファイナンスに関する動向として、グリーンボンド・排出権取引・ESG投資・グリーンフィンテックなどから研究対象を選択・決定する						
【第8・9回】	問題の背景に関する調査と問題の設定に関するディスカッション(1)・(2)						
【第10・11回】	問題の解決方法に関する調査とディスカッション(1)・(2)						
【第12・13回】	リサーチに関する報告とディスカッション(1)・(2)						
【第14回】	本講義のまとめと将来の方向性						
【第15回】	フィードバック						
[履修要件]							
特になし							

ILASセミナー : サステナブル・ファイナンス(2)

[成績評価の方法・観点]

出席と議論への積極的な参加(40%)、グループでの発表(20%)ならびにレポート(40%)によって評価します。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

授業前に予習すべきこと: 前回授業内容の確認・質問事項の整理
復習すべきこと: 授業資料などを使って授業内容の確認

[その他(オフィスアワー等)]

(連絡先) 金村 宗 kanamura.takashi.3u@kyoto-u.ac.jp

[主要授業科目(学部・学科名)]